

ブラウザのリンク先読み関連機能について

ブラウザのリンク先読み関連機能の設定が有効になっている場合、利用者がリンクをクリックしなくても、バックグラウンドでページ内のリンクへのアクセスが繰り返され、意図せず機械的に大量のダウンロード・アクセスをしてしまうことがあります。

短時間での大量ダウンロードやアクセスが確認された場合、意図の有無に関わらず、データベース提供元から大学全体のアクセスを遮断されてしまうこともあります。

オンラインデータベース利用時はブラウザの設定を確認し、関連機能を無効に設定してください。

【ブラウザの設定変更方法】

Microsoft Edge	「設定」 > 「プライバシーとセキュリティ」 > [ページ予測を使用]（閲覧速度の向上、読み取りの改善、全体的な使用感の向上に役立ちます）をオフにする
Internet Explorer 11	「ツール」 > 「インターネットオプション」 > 「詳細設定」タブを開き、[ブラウズ]中の「パフォーマンスを最適化するためにサイトとコンテンツをバックグラウンドで読み込む」のチェックをはずす
Google Chrome	「設定」 > [プライバシーとセキュリティ]の「もっと見る」をクリック > [ページをプリロードして、閲覧と検索をすばやく行えるようにする]をオフにする
FireFox	URL欄に「about:config」と入力してEnterキーを押す > 「注意して進んでください！」という警告ページが表示された場合は、「危険性を承知の上で使用する」をクリック > コンフィグ画面で設定名「network.prefetch-next」を検索し、設定を「false」にする（trueになっている場合は、ダブルクリックする）
Safari (Mac)	メニューバーの「Safari」から「環境設定」をクリック > 「検索」タブを開き、「バックグラウンドでトップヒットを事前に読み込む」のチェックをはずす